

# 神原インターンのつながる通信

～若者の生活保護受給に関する勉強会を開きました～

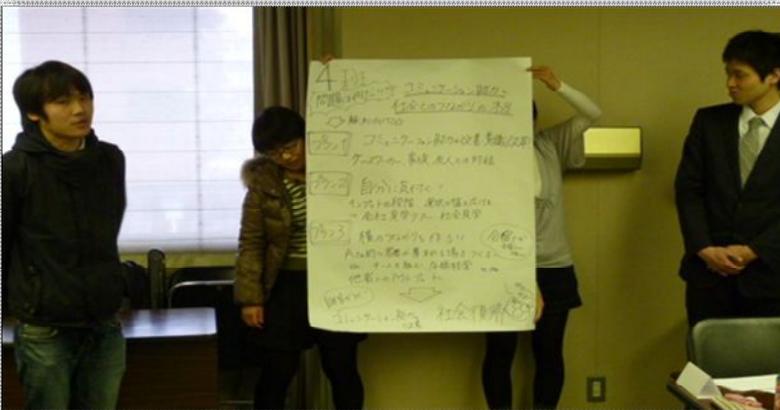


## 1、説明

まず初めに、生活保護の概要を、スライドを用いて発表し、生活保護への理解を深めました。

## 2、ワークショップ

私たちの提示したテーマで、グループに分かれて議論をしました。最終的にはそれぞれから出た意見を模造紙にまとめました。



## 3、班ごとの発表

話し合いの結果、働けるのに働けない原因はコミュニケーション能力であり、この解決方法として横のつながりを強化するという案が出ました！

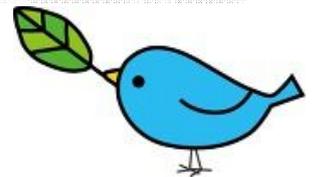
班ごとの発表の結果、同じ境遇の若者たちが集まって体験や悩みを共有する場を設けようという案にまとまりました。しかし、彼らを集めるには、集める目的が明確であることと、彼らのプライバシーを保護しなければならないという問題があります。生活保護の問題は解決が難しく、制度自体を見直すべきだという意見も出ました。生活保護制度は私たちにとっても重要な問題であることは間違いないので、これからも考えていきたいと思えます。



関西学院大学法学部政治学科1回生  
友長幸香

インターンシップに参加させて頂いた理由としては、人のつながりを大切にされる神原議員のもとで、私自身もつながりの輪を広げたいと思ったからです。そして、そのつながりの中で、今までの私にはなかった考え方や、価値観、視点を知りたいと思っていました。そして、神原議員のもとで2か月間を過ごした今、少しではありますが、私の考え方に変化が生まれています。以前の私なら、失敗することを恐れ、積極的に行動したり、発言したりすることに躊躇いを感じていたのですが、地域の方や卒業生の皆様とお話をしていくうちに、失敗することで見えてくるモノもたくさんあるということを知りました。そして、常に好奇心を持って物事に取り組むことの大切さ、進んで新しいことに挑戦する大切さを学びました。短い期間ではありましたが、インターンシップに参加することで出会えた方々や見えてきたモノは、私のこれからの人生において、本当に大切なものです。

**2ヶ月間お世話になりました。今回の経験をこれからの生活に活かしていきたいです。**



## 2ヶ月間のインターン活動を通して

大阪大学法学部法学科1回生  
高瀬鈴香

私が今回インターンに参加しようと思った理由は2つあります。1つ目は、人前で話すことが苦手なので克服したいと思ったから、2つ目は、豊中市民でありながら豊中市についてほとんど知らないのに豊中市について知りたいと思ったからです。しかし、朝の街頭演説をやることで、初めは緊張して何を話したらいいのかわからなかったのが、人前で話す度胸がつき、今では緊張せず話すことができるようになりました。また豊中市の議会傍聴や施設見学をすることで、豊中市の現状や抱えている問題を知ることができました。豊中市議会の進め方は私が想像していたものと違って驚きました。その他にも、普段なかなか経験できないことをすることができ、またそこから得たものも大きく、本当に私にとってプラスになることばかりの2ヵ月でした。

関西大学経済学部経済学科2回生  
福岡拓弥

私はインターンシップに参加した理由は演説がしてみたい、という興味本位からです。最初は話し終えたときの達成感だけで満足してしまいましたが、経験を重ねれば重ねるほど、自分に足りないものに気づくことができました。自分の思いを表現したり、伝えることがいかに難しいのかを知ることができました。街頭演説だけでなく神原議員との活動をする中で、これって議員の仕事？というような内容もあり困惑することもありましたが、普段の学生生活から考えると、到底得られないものです。学生生活に戻ってからも、さまざまな活動に参加できるチャンスがあると思います。今度は興味本位で参加するのではなく、神原インターンで習った自律的に行動するという心掛けて得られたものを発展させ、自分自身を高めていきたいと思っています。